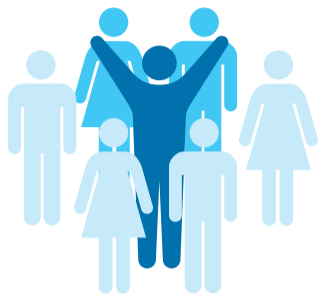


People-Centered Care ピープル・センタード・ケア ～市民が主体となるケア～

PCCガイド

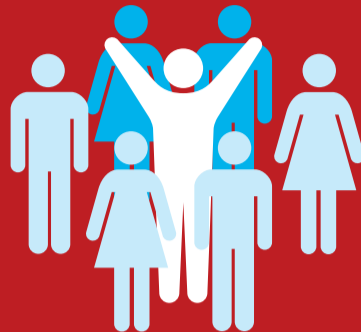


聖路加国際大学
国際地域連携センター PCC開発・地域連携室

1

People-Centered Care ピープル・センタード・ケアとは

People-Centered Care (PCC)とは、市民が主体となり、医療従事者とパートナーを組み、自分の健康問題の改善に向けて取り組むことです。



2

People-Centered Care ピープル・センタード・ケア ～市民が主体となるケア～



市民と医療従事者との関係

医療の関りの観点から見た市民と医療従事者とのパートナーシップの型は3タイプあります。

①「アプローチ型」

まだ明確な問題意識を持っていない市民に、健康に過ごせるようにアプローチする医療従事者との関係

②「サポート型」

病気や症状を持ちながら生活している市民に、サポートする医療従事者との関係

③「共同推進型」

既に健康問題に対して主体的に取り組む市民に、共に取り組みを推し進める医療従事者との関係



3

パートナーシップに必要な 8つの要素

健康問題の改善に向けて、市民が主体となり、医療従事者とパートナーを組みます。同じ目標に向かって取り組む際に、市民と医療従事者とが互いに、以下の8つの要素を持つことが大切です。

1. 互いを理解する
2. 互いを信頼する
3. 互いを尊敬する
4. 互いの持ち味を活かす
5. 互いに役割を担う
6. 共に課題を乗り越える
7. 意思決定を共有する
8. 共に学ぶ

4

市民と医療従事者との パートナーシップの 型と要素

PCCは、下の図のように3つのパートナーシップの型と、パートナーシップに必要な8つの要素でできています。



5

PCCの流れ

People-Centered Careは、市民または医療従事者のどちらかが、個人や集団(地域社会)の健康問題に気づくところから始まります。その後、市民が主体となって、医療従事者とパートナーを組み、共に目標を決め、計画し、実行し、評価していきます。そして、一緒にケアの成果を共有します。これがPCCの一連の流れになります。



6

PCCの3つの成果

①目標が達成される

PCCの取り組みにより、市民と医療従事者と共に決めた目標が達成されます。

②個人の力がつく(個人変容)

PCCへの取り組みにより、市民は健康情報や、相談できる人や場が増えます。市民は、医療従事者と相談できる関係を築くことができ、健康情報を見極める力も磨かれます。さらに、取り組む意欲も高まり、生活の質の向上も期待されます。これらの変化は、医療従事者にも期待されることです。

③社会が変わる(社会変容)

地域社会における問題の改善も期待されます。新たな社会システムの構築、新たなケアの開発、新たな団体の確立、新たな制度の導入も期待されます。

7

People-Centered Care の成果

PCCの取り組みにより、「目標の達成」「個人変容」「社会変容」の3つの成果が期待されます。



8

互いを理解する

健康問題の改善に向けて、市民と医療従事者が共に歩み寄り、互いを分かり合うことです。

例えば…

- あなたと市民は、互いに自己紹介をしているか
- あなたと市民は、互いの考え方や気持ちを理解しようとしているか



互いを信頼する

健康問題の改善に向けて、市民と医療従事者が、お互いを信じ合えることです。

例えば…

- あなたと市民は、互いにパートナーとして認め合っているか
- あなたと市民は、率直に意見を伝え合っているか



互いを尊敬する

健康問題の改善に向けて、市民と医療従事者が、互いに尊敬し合い、敬意をもって接することです。

例えば…

- あなたと市民は、互いに意見を尊重し合っているか
- あなたと市民は、互いに敬意をもって接しているか



互いの持ち味を活かす

市民と医療従事者が、健康問題の改善に向けて、互いの知恵と技を出し合うことです。

例えば…

- あなたと市民は、相手への期待を伝え合っているか
- あなたと市民は、互いの長所を伝え取り組んでいるか



互いに役割を担う

市民と医療従事者が、健康問題の改善に向けて、互いに役割を担うことです。

例えば…

- あなたと市民は、それぞれが役割を持っているか
- あなたと市民は、それぞれの役割を認識し、取り組んでいるか



共に課題を乗り越える

市民と医療従事者が、健康課題を乗り越えるために共に努力し合うことです。

例えば…

- あなたと市民は、直面する課題に対して、共に考えて取り組んでいるか
- あなたと市民は、納得するまで話し合っているか



聖路加国際大学 国際地域連携センター PCC開発・地域連携室



高橋恵子、亀井智子、大森純子、麻原きよみ、菱沼典子、有森直子、田代順子、新福洋子、大橋久美子、朝澤恭子

(2017年7月 第1版作成)
(2020年1月 第1版第2刷)

本研究はJSPS科研費JP19H03966の助成を受けたものです。

意思決定を共有する

健康問題の改善に向けて、市民と医療従事者が、同じ目標で物事の決定を共有することです。

例えば…

- あなたは市民と目標を共有しているか
- 市民は、納得して決めた物事をあなたと共有しているか



共に学ぶ

市民と医療従事者が、健康問題の改善に取り組む過程で、互いに学び合うことです。

例えば…

- あなたと市民は、健康問題の改善に役立つ情報をお互いから得ているか
- あなたと市民は、お互いから学んだことを言葉で伝え合っているか

